

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	才想館		公表日		令和7年 3月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		個別室、学習室、活動室を人数や用途によって環境を調整し、支援が行き届くよう工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・事業所が借家の為、段差に対するバリアフリー化は難しいが、手すりの設置や段差部分に色をつけたり、滑り止めをつけて環境調整を行っている。 ・手すりの設置、階段の滑り止め、階段上り下りの際は手添えをおこなっている	事業所が借家の為、大幅な改修等は行えませんが、現在行っている環境調整を引き続き行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃、また感染症の防止の為、使用したものは消毒をおこない、常に清潔を保てるよう努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別活動や体調不良時に使用できる部屋を確保できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・事業所内研修だけでなく、消防署などへ出向き、緊急時対応の実技研修等も行っている。 ・緊急時に対応が出来るよう消防署での研修等もおこなっている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・月ごとに活動計画を立てて担当者を決めて、それぞれの担当の特色を活かす環境となっている。 ・毎月、活動プログラムはスタッフミーティングで話し合い、決まった内容を保護者様へ配布している。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		製作、感覚、コミュニケーション、運動など各曜日により偏りがないように工夫している。 5領域の「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に沿った内容を各曜日、偏りがなく工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別、小集団、集団（全体）の活動を設定して支援を実施している。 個別、小集団ワークを設け計画に沿った支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・その日の活動のメインとなるスタッフがミーティングを進め 配置の確認と役割分担を行っている。 ・毎朝朝礼で支援内容や役割などは話し合いを行い、実際の支援にあたっている。 ・毎朝朝礼をおこない、当日の支援内容、送迎確認、また営業終了後～朝礼までの保護者様、相談員さんからの連絡等を職員間で共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・活動の振り返りを行い、次に向けた職員の配置等を話し合っている。 ・終業時間間際まで送迎にかかることもあるため、早急に伝えるべきことは伝えるが、翌朝の朝礼で行うことが多い。 ・次の日のミーティングで振り返りと送迎時の家庭、学校からの情報をスタッフ間で共有している。 ・職員間での振り返り・情報共有の時間を設け、支援内容に対する振り返りや学校、保護者様からの伝達事項などの共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		記録の内容をスタッフ間で共有し改善につなげている。 日々の記録については毎日行いながら、振り返りで挙がった支援の改善点などは、その都度話し合い、次回の活動内容の見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		積極的に学校や相談支援事業所に働きかけを行い、会議の開催等に貢献している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校とは特に連携をとらせていただき、学校での様子の共有や課題などの共有を図り、その内容を踏まえた内容を活動プログラムに入れ込んでいる。 発達外来などで病院受診される際には、情報提供書を作成して病院へお渡ししている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7	まだ学校を卒業して障害福祉サービスへ移行する方がいらっしゃらないため実施できていない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	家族（保護者）の意見を真摯に受け止めている。また、悩み事等へも解決に導いていけるよう会議の場を設定している。	ていないため、今後希望者を集めてのペアレントトレーニング等、学びの場となるような機会を計画していきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	6		今後、保護者会を予定しております。保護者様同士の交流の場としてもご活用いただけるような内容を計画中です！
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・3か月に一度の割合で通信を発行している。またSNSを活用した活動の情報を発信している。 ・今年度より「才覚館通信」の発行を行っている。Instagramでは、定期的に活動の写真を投稿している。 ・ホームページの作成もおこない、紙面での通信も作成し、活動概要や行事等の連絡をおこなっている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚支援や見通しを持ちやすいスケジュールを立てている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	活動の中に地域活動を入れ事業所周辺道路の清掃作業を行っている	地域の皆様をご招待して事業所と地域の皆様との交流をしていきたいと思っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎月避難訓練や訓練時の知識を学ぶ活動を取り入れたり、スタッフ研修の中で緊急時対応を消防署へ学びに行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・契約時にはアレルギーや服薬について保護者様に記入をお願いしており対応が出来るようにしているが、現在までにアレルギーがあるお子様はおられない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全面を基盤として活動の内容を精査している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				